

第1号議案

平成31年度

公益財団法人 園部町農業公社 事業報告書 (平成31年1月1日から令和1年12月31日)

当農業公社は、平成26年2月3日より新しく公益財団法人園部町農業公社として6年が過ぎました。当公社は、優良農地の保全及び地域担い手農家の育成を図るとともに、優れた自然環境や地域の特性を生かしながら、農産物の生産振興や農作業受委託、中核的担い手農家の育成、都市交流、地産地消の推進等を行うことにより遊休農地の発生防止と農業経営の安定化による地域の活性化を図り、活力ある農村社会の発展に資することを目的として、以下の事業を行いました。

(1) 農作業受委託事業

耕作放棄による遊休農地の発生防止・解消及び高品質な農産物の生産振興を行うことによる地域農業の維持を目的として、当公社が基幹作物と位置付けている水稲栽培を中心とした農作業を代行しました。

(イ) 圃場の保全管理、荒耕、代耕、田植え、稲刈り・小麦刈取り、肥料・除草剤の散布、草刈等の基本作業及び、パイプハウスの保守・点検作業。

(ロ) 繁忙期には農作業請負部会への農作業の再委託を行う。(9団体)

	荒中耕	溝切り	代耕	畦付け	転作(管理作業)
公社	55戸 (1,210 a)	53戸 (820 a)	28戸 (351 a)	9戸 (2,300m)	12戸 (345 a)
請負	7戸 (145 a)		6戸 (117 a)		

	田植	植付	苗運搬	肥料散布20kg	畦草刈
公社	76戸 (150筆)	3864箱	1800箱	76戸 (360袋)	49戸 (930 a ×4)
請負	13戸 (26筆)	590箱	150箱	5戸 (20袋)	

	麦刈り	稲刈り	粃運搬	乾燥調製30kg	秋耕
公社	13戸 (350 a)	90戸 (2,790 a)	58戸47,600kg		18戸 (170 a)
請負		17戸 (380 a)	12戸 (15,380kg)	57戸 (2,550袋)	

	ハウス修理	建設
公社	9戸 (13棟)	1戸 (1棟)



管理作業（荒耕）



刈取作業



麦刈り作業



畦付け作業



除草作業



排水作業

作業受委託農家戸数

川辺地区	摩気地区	西本梅地区	園部地区	町外	公社直営	合計
18戸	17戸	13戸	75戸	9戸	35戸	167戸

(ハ) 農地保有斡旋事業

終期年度	令和5年11月30日	令和4年11月30日	令和3年11月30日
利用権設定	7戸15筆275 a	13戸34筆688 a	1戸2筆57 a
利用権未設定	12戸16筆196 a		

合計 33戸67筆1,216 a

(ニ) 担い手農家育成事業

当公社の農業経営のノウハウ、施設・機械の運営管理、水稻栽培方法、特産品（椎茸・栗・もち）の開発・生産等の実習や各施設への技術研修や現地研修、先進地研修、施設園芸研修も積極的に行いました。農産物検査に係る研修会や鑑定会は、資格者全員出席してレベルアップを図りました。



栗園獣害対策



農産物検査実習



椎茸植菌

(2) 都市交流事業

都市交流を目的として、以下の事業を行った。

(イ) 体験事業

a) 水稻体験事業

農業体験を船阪地内において減農薬米（れんげ米）の田植体験、稲刈り体験、収穫体験を実施し、自ら収穫した農作物を消費することにより、地域農業や食の安全、

自然環境等について考える機会を提供し消費者に園部産農産物の品質・安全性を発信、米を中心とした地元農産物の消費拡大を促進した。



田植体験



稲刈体験



b) そのべ味覚狩り体験

とうもろこし狩り、栗拾い、枝豆狩り、ゆず収穫、さつまいも掘り等、町内の圃場にて実施し園部産農産物の品質・安全性を発信。



枝豆



とうもろこし収穫



栗拾い



さつまいも収穫

(p) 公園整備事業

1年間を通じて船阪親水公園の管理・整備等（トイレの清掃・芝の管理・除草作業）を行うことによって地元市民との交流の場となった。



親水公園管理作業



(h) 農作業体験事業

直営田の一部を、園部町内・南丹市内の近隣都市住民にふれあい体験農園として開放し、利用者（4組）に対して安心安全な野菜の栽培方法等の指導やその他の相談・指導、不在時の農場の管理、農機具の貸し出しを行った。

また、南丹市立園部中学校から生徒を受け入れ、勤労体験学習を行った。



園部中学校体験学習



豆選別作業



玉ねぎ定植

(3) 検査精米事業

平成31年度産のうるち玄米・もち玄米の品位等検査を行いました。地域全体のイメージや園部ブランド(温心米)の地位向上と共に地域活性化を図り、消費者に安心安全なお米を供給することができました。



(イ) 農産物検査実績 (30kg/袋)

	コシヒカリ	キヌヒカリ	祭り晴	新羽二重糯
31年産	5,212	5,266	60	430
合計	10,968袋			

(ロ) 無農薬栽培米・減農薬栽培米・温心米取扱い (30kg/袋)

	コシヒカリ	キヌヒカリ	れんげ米	すこやか米	祭り晴	新羽二重糯
31年産	2,896	5,481	2,323	86	60	339
合計	11,168袋					

(ハ) 精米工場実績 (30kg/袋)

	色彩選別	精米・色彩選別	合計
31年産	156.8トン5,225袋	334.8トン11,160袋	491.6トン16,385袋

新光悦村、町内の施設等で提供。また、れんげ米の一部は精米工場で検査・乾式無洗米精米を行い園部町内の小中学校給食で使用されており、園部町ブランドの地位向上のための基幹作物として農業経営の安定化と地域活性化を図ることができた。



(4) 地域農業の安定化事業

米の消費拡大による地域農業の安定化、安心安全でおいしい農産物の消費者への提供を目的として以下の事業を行った。

(イ) 農業技術向上促進事業

(a) 研修会

栗の整枝・剪定、害虫防除の研修会を公社栗園において、昨年に引き続き南丹広域振興局農林商工部副主査東久保氏のもと行った。

シイタケ栽培を岐阜県加茂郡川辺町(有)しいたけブラザーズ施設において視察研修を行った。春夏野菜栽培の基本技術について、講師を招き「片岡コープアグリ(株)」研修を行った。先進地視察「JA紀の里ファーマーズマーケットめっけもん広場等」において農産物・加工品の荷姿、包装、価格の視察研修を行った。



栗の剪定



栗の剪定



栗の施肥



椎茸栽培視察



椎茸栽培視察



農産物検査



柑橘類整枝・剪定講習会



先進地視察研修

(b) 直営田において

	反別(筆数)	1袋/30kg
れんげ米	660 a (34筆)	955袋
キヌヒカリ	57 a (2筆)	85袋
すこやか米	70 a (3筆)	70袋
新羽二重糯	78 a (7筆)	90袋

(p) 特産品開発事業

農産物加工場において園部町産のもち米を使用して特産品として、正月用の丸もち・鏡餅及び切り餅・小金餅・シャブシャブ餅・かきもちの加工(4,300kg)、地元うるち・もち米を使い製粉加工(1,400kg)、黒豆あんもち、揚げかきもちの製造販売を行った。

消費者からは、自ら生産したお米やもち米が製粉加工出来るので喜ばれた。椎茸の植菌を昨年に続き地元原木500本に行い「そのべ原木しいたけ」として販売し、また、もち藁を夏に青刈りして正月用しめ飾りとして道の駅で販売できました。



黒豆あんもち



揚げかきもち



しめ縄



椎茸原木切り出し作業



しめ縄用藁

(ハ) 学校給食事業

安心安全な減農薬有機栽培のれんげ米に無洗米精米を行い地元野菜も園部町内小学校と中学校の給食として提供した。生徒の健全育成や食育及び地産地消の推進を図った。野菜の栽培は当会社の指導・管理のもと安心・安全農家グループが行った。

れんげ米	春菊	黒豆枝豆	黒豆	子供ピーマン	玉ねぎ
15.1 t	280 k g	79 kg	11 kg	22 k g	1,500 k g

(5) 道の駅の運営

「京都新光悦村」の運営を協定書に基づき当駅の管理作業・地元関係機関や「近畿道の駅連絡協議会」と相談しながら事業展開を行いました地元生産農家に安全・安心な野菜作り講習会及び研修会を実施した。そのべ産米(温心米)と野菜は生産から販売まで責任を持って対応し安全・安心で美味し農産物、物販等をインターネット等でも併せて取扱。毎月イベントを開催しました。

また、南丹市立園部中学校から生徒を受け入れ、勤労体験学習を行った。

分類	園部町特産物	南丹市特産物	地域食材提供施設	物販	自販機	合計
売上金額(円)	107,585,781	16,464,750	49,128,212	69,310,489	5,959,750	248,448,982
割合	43.3%	6.6%	19.8%	27.9%	2.4%	100%
	野菜・米宅配数	観光バス	来客数(レジ数)	客1人単価		
	1,236件	1,070台	154,812件	1,566円		

クレジットカード・電子マネーの取り扱い状況

	取扱開始日	件数	金額
クレジットカード	令和1年12月17日	200件	574,953円
電子マネー	令和1年12月19日	86件	129,658円
	合計	286件	704,611円